

デーツで長寿効果か

ドライフルーツとして人気のナツメヤシの実「デーツ」を食べると寿命が延びる可能性があることを、線虫を使った実験で確認した、と広島工業大（広島市佐伯区）と広島大大学院（東広島市）、お多福醸造（三原市）の研究グループが発表した。日本生物工学会の英文誌で公開された。

実験では、それぞれ線虫90匹に、通常の餌である大腸菌のみと、大腸菌とデーツを与えて寿命を比較した。大腸菌のみの線虫は平均寿命が12・36



広島工業大の
角川教授



実験に使った線虫

広工大などの研究グループ発表

日だったが、デーツも与えた線虫は16・96日と、4割近くも長かった。プルーンやパイナップルなど他のドライフルーツを与えた実験では平均寿命は13〜14日だった。

さらに、大腸菌のみ食べた線虫は加齢とともに活動量が低下するが、デーツも与えた線虫は死ぬ直前まで活発に動き、突然動かなくなる現象が見られたという。

線虫は体長約1ミミで、人間と同じ遺伝子を多く持ち、寿命研究のモデル生物として使われるケースが多い。デーツは中東地域を中心に人気が高い果物で栄養価も高く、「神から与えられた植物」といわれている。

広島工業大食健康科学科の角川幸治教授（応用微生物学）は「元気で長生きできる結果が確認できた。今後は健康食品の開発に向けて研究を続けていく」と話している。